

令和4年度第4回 藤島地域教育振興会議 会議録（概要）

1 会議の開催概要

○日 時 令和5年3月10日（金）18時30分～20時10分

○場 所 藤島地区地域活動センター大ホール

○出席委員 17人（うち代理出席1人）

齋藤昭彦、叶野明美、成田信一、高橋俊一、近藤直志、菅原治、
今野貴行、加藤正広、丸山裕司、中田英幸、上林祐樹、佐藤謙、
前田範子、渡部高生、遠田良弘、井上佳奈子、齋藤直美、武田洋

○市出席者 〈教育委員会〉

教育長 布川敦、教育部長 本間明、参事兼管理課長 清野健、
学校教育課長 成澤和則、学校教育課指導主幹 渡邊智、
管理課庶務主査 奥山真裕、学校教育課指導専門員 落合正幸

〈藤島庁舎〉

支所長 成田譲、総務企画課長 小林正雄、市民福祉課長 長谷川郁子、
総務企画課地域まちづくり企画調整主査 齋藤優、総務課主査 後藤春雄

○傍聴者 9人

○会議次第

1 開会

2 挨拶（藤島地域教育振興会議委員長）

3 説明・協議

（1）令和4年度第3回藤島地域教育振興会議グループ協議結果（案） 資料No.1

（2）令和5年度の検討事項（案） 資料No.1（別紙）、資料No.1（別紙） 参考

（3）藤島地域教育振興会議中間報告書（案） 資料No.2、資料No.2（別紙）

（4）地元意見の集約方法（案） 資料No.3

（5）藤島地域振興懇談会への報告事項（案）

（6）今年度の今後の予定

4 その他

5 閉会

2 会議録

■次第3 説明・協議（1）令和4年度第3回藤島地域教育振興会議グループ協議結果（案） 説明・協議（2）令和5年度の検討事項（案）

（管理課長）資料No.1、資料No.1（別紙）、資料No.1（別紙）参考を一括説明。

（委員長）第3回会議時のグループ協議結果について、委員の意見等をもれなくまとめ整理し報告頂いた。この結果を踏まえて、資料No.1別紙のとおり、来年度の3回の会議で、「藤島地域の小中学校のあり方」「あり方を踏まえた新校舎の施設規模、校舎機能」「コミュニティスクールや部活動地域移行など地域支援のあり方、通学対策、最終報告書の確認」と順を追って、詳細に協議していきたいと説明であった。ただいまの説明や資料について、補足したい事項や追加したい事項、また、質問や確認したいこと、ご提案などあれば、ご発言いただきたい。

（委員）先日、東栄地区説明会で説明していただき感謝申し上げます。おおむね小中一貫校を建てる方向性について、前向きな発言が多かった印象であるが、東栄地区では通学が問題になると思う。Q&A集第2版のとおり、東栄地区の通学時間はおおむね50分以内で、他地区よりも長い現状にある。もし、50分の通学バスに小学校1年生の児童が乗車しなければならない場合、保護者として不安もあり、他委員の意見にもあったように、通学対策に工夫の余地があると思う。予定では第7回会議で通学対策を協議することとなっているが、安心して子どもを毎日学校に送り出せる環境を提示できるかどうか的大事であり、今後、説明会やアンケートを実施するとのことだが、通学対策について早めに議論できないか相談したい。

（委員長）小学校低学年の通学時間は、保護者の立場では気になる部分である。早めに具体化できないかという提案だったが、事務局から願います。

（管理課長）ご指摘のとおりであり、地元説明会にうかがう際は、具体的な地区ごとの通学時間を試算し、そのうえで説明できるようにしたい。

（委員長）できるだけ早めに説明いただきたい。他にないか。それでは説明・協議事項（1）（2）について承認してよろしいか。

（委員長）異議なしと認め承認する。続いて、説明・協議事項（3）について事務局より説明をお願いします。

■次第3 説明・協議（3）藤島地域教育振興会議中間報告書（案）

（管理課長）資料No.2、資料No.2（別紙）を説明。

（委員長）第3回、第4回の会議内容も含めて概要版に記載するとの説明であった。ただいまの説明や資料について、補足したい事項や追加したい事項、また、質問や確認したいこと、ご提案などあれば、ご発言いただきたい。

(委員長) 中間報告書5ページ下部に、小中一貫校を設置する場合、以下の効果が期待されるとして、「⑤中学校教員による小学校への計画的な乗り入れ授業を実施することにより、より質の高い授業を展開できる。」とある。中学校の先生が小学校で指導すれば質が高くなるという表現は、小学校の先生からすれば、必ずそうなるのかと疑問をもつ方もいると思われる。第1回会議で小中一貫教育の形態について説明があったが、その中で、計画的な乗り入れ授業として、例えば、小学校高学年における教科担任制、中学校の免許外解消という記述があった。それを追記する表現としてどうか。

(学校教育課長) ご指摘のとおりである。中学校教員が小学校の授業に乗り入れることにより教科担任制が実現し、また、中学校では免許外解消につながるなど質の高い教育の展開が期待できることから、事務局で文言を修正し再提示させていただきたい。

(委員長) 中間報告書は、改めて委員から文面等を確認いただいたうえで発行されるとのことなのでよろしくお願ひしたい。他にないか。

(委員) 中間報告書とは直接関係ないが、確認したい点として、義務教育学校が今後検討されることだが、義務教育学校が設置されるとなった場合、例えば、どの年度の児童生徒数で校舎規模が決まるのか。

(管理課長) 学校建設のスケジュールと児童生徒数の推移から学校規模は導かれると考える。来年度の会議において具体的な学校規模をイメージできるような資料を整えて説明したい。

(委員長) 早くて11年度の開校という見込みがあるようだが、仮に11年度に開校となった場合は、11年度の児童生徒数を想定して学校規模を考えることになるかと考える。具体的な見通しができたら、その時点で詳しい説明をお願ひしたい。他にないか。

(委員) 資料を読んだがよくまとまっており、これ以上のものはないと思う。あるとすれば、先ほど委員長から指摘があった件である。ただ、一般の方々が読んだときに、小中一貫教育と小中一貫校の違いが分かりづらいのではないかと。片方は、学校教育の仕方やどのように子どもを育てたいかで、もう片方は、学校をつくること、環境を整えることで、それぞれ違うもので分かりづらい印象であるが、報告書の内容はよくまとまっている。

(管理課長) ご指摘は事務局としても認識しており、説明会などで、直接説明することで理解いただける内容と考えている。今後、地区説明会で誤解が生まれないよう説明していきたい。また、Q&A集において「小中一貫校と小中一貫教育は違うものですか？」という設問を設けて、理解しやすさに配慮したい。

(委員長) 藤島の方々が小中一貫教育と小中一貫校を混同しないよう、分かりやすい説明に心掛けてもらいたい。

(委員) 今日の議論ではないかと思うが、教職員の長時間勤務が心配されることから、部活動地域移行など様々な取組みがなされている。しかし、新しい取組みとして小中一貫校の形態になることによって、先生が忙しくなるのではという声が上がってくると思う。小中一貫校の特例を受け入れながら、先生方もゆとりを持って子どもに接し、温かい雰囲気の中で子どもを育ててもらいたい。先進校の例を引き合いに出しながら説明していくことも大事である。

(学校教育課長) 教職員の負担軽減も大切なことだと思うので、その点について参考になるのが、萩野学園の取組みと考える。その取組みをまとめながら、具体的には小中一貫加配という教員の配置もあるので、そのようなことを示しながら説明していきたい。

(委員長) よろしく願います。他にないか。それでは説明・協議事項(3)について承認してよろしいか。

(委員長) 異議なしと認め承認する。続いて、説明・協議事項(4)について事務局より説明をお願いします。

■次第3 説明・協議(4) 地元意見の集約方法(案)

(管理課長) 資料No.3を説明。

(委員長) ただいまの説明や資料について、補足したい事項や追加したい事項、また、質問や確認したいこと、ご提案などあれば、ご発言いただきたい。

(委員) 地元説明会について、それぞれの地区で説明いただくものと考えていた。先般、事務局より学校単位で説明会を開催してどうかと相談があり、そのときはそのとおりかと思っただけ、本日、事務局から幅広い年代の住民から意見をいただきたいとの話があった。長沼地区は藤島小学校区では一番遠い地区であり、藤島地区の説明会に足を運ぶことは大変と考えられるので、長沼地区でも説明会を開催いただきたい。

(委員長) 事務局からは小学校区単位の提案であったが、それ以外の地区でもきめ細やかに開催してほしいという要望である。

(管理課長) ご希望があれば対応はできるので、地区の皆さんの意見を踏まえて、今後検討していきたい。

(委員長) よろしく願います。他にないか。

(委員) 小学校全学年児童と中学校全学年生徒からアンケートを取るとのことですが、良いかと思うが、もしできるのであれば、アンケートを取るだけでなく、意見などのやり取りができれば、子どもたちにとっても郷土愛を育むことに関わっていくと思う。また将来、子どものときにそのような話し合いをしたというイメージを親が持つことで、より中身の濃いものになると感じる。アンケートだけでなく、子どもの話し合いや意見交換ができればよいと考える。

(管理課長) 事務局で再検討させていただきたい。

(委員長) 直接子どもたちの意見を聞くことで、より把握できるものもあるかと思うのでご検討をお願いします。他にないか。

(委員) 中学校の子どもに部活動の時間で、藤島中学校改築に伴い新しい学校の形が複数あることを話しどれがよいか聞いたことがある。様々な意見があり、9年間一緒だと飽きるという声もあったが、とても興味深かったのでぜひ実現していただきたい。

(委員長) 強い希望があるので検討をお願いします。他にないか。

(委員) 今回のアンケートについて、地区説明会に参加した人の回答と説明会に参加しない人の回答は内容が違ふと考えられる。アンケートを依頼するときどの程度の資料でお知らせするのか。

(管理課長) ご指摘のとおり様々な情報が伝わっている方とそうでない方との回答には差異が出てくるのが予想される。なるべく、正しく多くの情報を事前に伝えてアンケートを実施すれば望ましいと考えられるがどこまで対応可能か、事務局で再検討させていただきたい。

(委員) 最終報告書をまとめるタイミングで、新しい学校の方向性や方針が確定しているのか。また、どのような学校になるかは、誰がどのように、どのタイミングで決定するのか。

(管理課長) 説明会で寄せられる意見などを踏まえ、どのような内容で最終報告書を完成させるかは、来年度、改めて相談しながら進めていきたい。

(委員) 現段階では、この時点で決めるということは未確定ということか。

(管理課長) 今、明確に示すことは致しかねるので、来年度の会議でご説明し相談させていただきたい。

(委員長) 第7回会議で最終報告書の案は示される予定である。

(管理課長) 資料No.1 (別紙) 参考にあるとおり、9月下旬の第7回会議で最終報告書の内容を議論いただく予定であり、その会議において最終報告書の内容は決まるものである。ただ、先ほど説明したとおり、地元の方々の意見で相反するものがあるとするれば、そのすり合わせをどうするかは、地区説明会後に改めて相談させていただきたい。

(委員長) 他にないか。

(委員) 鶴岡市の広報に記事が掲載されたが、今後も記事掲載する予定はあるか。

(管理課長) できるだけタイムリーにお知らせをしていきたいが、広報藤島地域版の発行が年4回ということもあり、若干時期がずれる可能性はあるが、随時、藤島地域教育振興会議の取組みを広報していきたい。また、ホームページにも掲載し周知を図りながら、この取組みが多くの方に伝わるように努めていきたい。

(委員) 広報を読んだ人が話題にしていたので、たびたび掲載すると理解が高まると思う。また、イラストを使いながら分かりやすく知ってもらうことが大事と考える。ホームページは常時アクセスできる固定の情報であり、広報は随時の情報となるので、両方の情報手段を今後も活用してもらいたい。

(委員長) イラストを使い、見やすい工夫をお願いします。他にないか。

(委員) 地元意見の集約方法で、説明会が平日夜間の開催となっているが、夕食やお風呂など子どもを面倒を見る人がいないと、保護者の参加は少なくなると考える。平日夜間だけでなく、土・日曜日、祝日の開催も検討してはどうか。

(管理課長) 地域ごとの開催を想定しているが、地域にこだわらない形で誰でも参加できる週末の開催も可能かと考えるので検討したい。

(委員) 2回の説明会を開催することのだが、2回とも出席できない人のために、全体を対象とした説明会を再度開催することも大事ではないか。

(委員) 2月に東栄地区で説明会を開催する際に、保護者の都合も考え、土曜日の午後2時から3時30分を設定したが、結局、19人の参加となった。どのような日時設定なら保護者の方々が参加しやすいと考えるか。

(委員) 保護者にとって土・日曜日が時間が取りやすいと考えるが、一番は関心があるかどうかである。若い世代にとって、自分の家のことを優先して考えることが多いので、家族の予定を大事にする人も多いと思う。地域に関わりを持つことを否定的に考える人も中にはいて、自分よりも上の世代の人との地域交流の経験に影響されているのではと考えている。若い世代で地域行事等に参加する人が少ないとすれば、その人たちがこれまでに地域でどのように交流してきたかによるのではと個人的に考える。昔から世代間交流が多い地域であれば、若い人でも地域のことに関心を持つ人もいるし、逆に、世代交流が少ない地域では関心も薄く、これからの説明会にも参加せず、結果、小中一貫教育に対する理解が進まないことも想定できる。

(藤島支所長) 地域における教育のあり方は若い人たちにとっても課題である。保護者など多くの方々に説明会に参加いただけるよう、地域庁舎として保育の現場にもアプローチしていきたい。

(委員長) 多くの方が参加いただけるよう工夫を出し合いながら、関心をもって考えていただけるようにしたい。教育委員会でも要望があれば説明に伺うとのことなので、よろしく願いしたい。

(委員) 平日でも土・日曜日でも興味ない人は参加しない。どの曜日や時間に説明会を設定するのではなく、自分の子どもが新しい学校に通うことになれば興味は出ると思うが、現在は多くの方が知らないだけなので、周知する方法をいろいろ講じれば、参加する人も確実に増えると思う。曜日は時間は関係なく、その人にとって小中一貫教育の優先順位が高くなれば参加すると考える。

(教育長) 朝陽第五小学校の建設にあたり期成同盟会が設立され、その会の方々が他の地域の方々に声をかけ、説明会に参加するようPRをしていただいた。そのように地域の協力がないと、何回も説明会を開催したとしても人が集まらないと考える。説明会の開催回数は多く設定したいが委員からもPRをしていただき、多くの方から興味を持ってもらい、知っていただけるような体制づくりご協力をお願いしたい。

(委員長) 各委員からもご協力いただき、多くの方々の参加につながるようお願いしたい。

(教育部長) 説明会の持ち方については、集まっただけという発想ではなく、当方が出向きご説明するという考え方もあるのではないかと考える。PTAや保護者会など集まりの際にお時間をいただき、事務局がご説明するというのも可能かと考えるので相談させていただきたい。

(委員) PTAでも人を集めるのが大変で、保護者会でも人が来ない。例えば、授業参観など必ず保護者が来る機会をとらえることも大事と考える。

(委員長) 様々な意見が出されたので、説明・協議事項(4)については事務局で再検討をお願い

いする。続いて、説明・協議事項（５）について事務局より説明をお願いする。

■次第３ 説明・協議（５）藤島地域振興懇談会への報告事項（案）

（管理課長）次第により説明。

（委員長）ただいまの説明や資料について、補足したい事項や追加したい事項、また、質問や確認したいこと、ご提案などあれば、ご発言いただきたい。なければ説明・協議事項（５）について承認してよろしいか。

（委員長）異議なしと認め承認する。続いて、説明・協議事項（４）について事務局より説明をお願いする。最後に、説明・協議事項（６）について事務局より説明をお願いする。

■次第３ 説明・協議（６）今年度の今後の予定

（管理課長）次第により説明。また、Q&A集第３版に記載したい設問等についても、あわせてお寄せいただきたい。

（委員長）ただいまの説明や資料について、補足したい事項や追加したい事項、また、質問や確認したいこと、ご提案などあれば、ご発言いただきたい。なければ説明・協議事項（６）について承認してよろしいか。

（委員）小中一貫教育、小中一貫校を進めるにあたり、支援学級に所属する子どもたちのメリットを載せていただきたい。

（学校教育課長）特別支援学級在席の子どもたちにとっての効果、影響があるのかについて、事務局でまとめお示ししたい。

（委員長）ご検討をお願いする。全体を通して何かあるか。

（委員）地区説明会に関して様々意見があったが、参加の形態として、例えば、説明会の動画を配信するなどの方法はあるかと思うので、ご検討をいただきたい。

（管理課長）事務局で再検討させていただきたい。

（委員長）ご検討をお願いする。他にあるか。なければ協議は以上である。長時間に渡る協議に感謝する。

■次第４ その他

（管理課長）東栄地区説明会について資料４その他資料について説明。

※委員から質疑等はなし

3 会議資料一覧

- ・ 次第
- ・ 出席者名簿・席次
- ・ 資料No.1 令和4年度第3回藤島地域教育振興会議グループ協議結果（案）
- ・ 資料No.1（別紙）令和5年度の検討事項（案）
- ・ 資料No.1（別紙）藤島地域教育振興会議 開催スケジュール
- ・ 資料No.2 藤島地域教育振興会議中間報告書（案）
- ・ 資料No.2（別紙）【概要版】藤島地域教育振興会議中間報告書（案）の構成と主な内容
- ・ 資料No.3 地元意見の集約方法（案）
- ・ 4 その他資料 東栄地区説明会報告書

以上